

開き戸金具
1
引戸金具
2
上吊式引戸金具
3
AFD
HR
SD
連動引戸
オプション
引戸錠
4
移動間仕切金具
5
室内用アルミ建具
6
折戸金具
7
取手・引手
8
スライド丁番
9
スライドワイヤーバスケット
10
収納・吊金具
11
その他の家具金物
12
物干金具・諸金具
13
設計施工ガイド
会社案内

使用条件

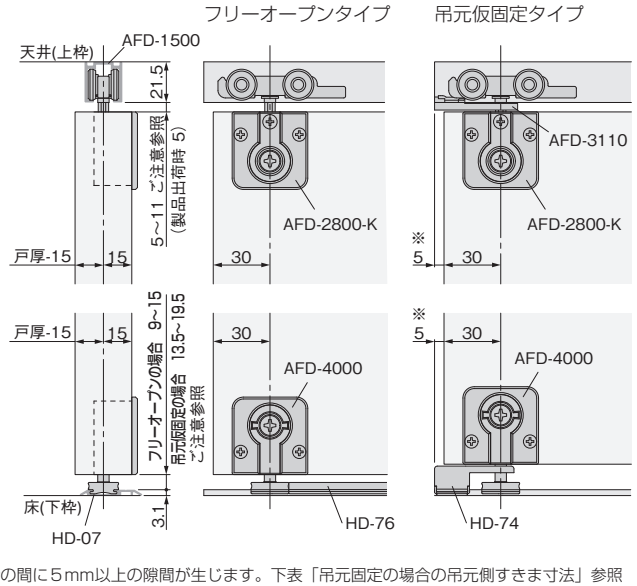
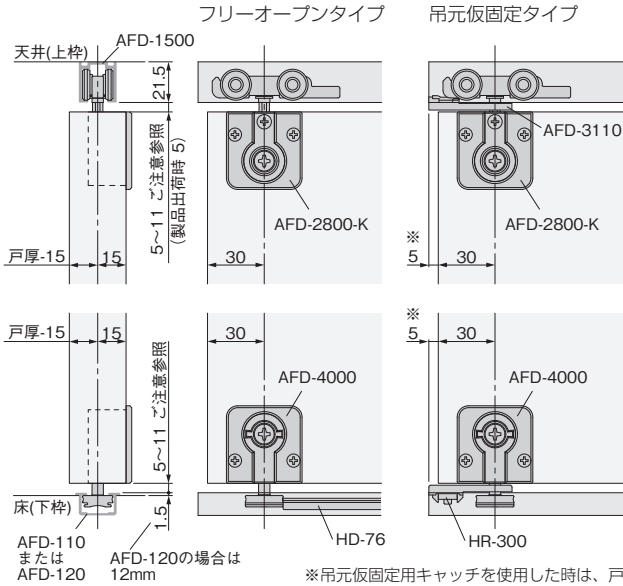
◇折戸1組の総質量:AFD-2800-K 30kg以下/AFD-2800 20kg以下
◇戸の厚さ:24mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800~900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図

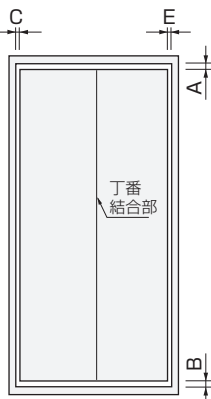
下部レールにAFD-110またはAFD-120を使用の場合

下部レールにHD-07を使用の場合



※吊元仮固定用キャッチを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定の場合の吊元側すきま寸法」参照

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



- 上のすきま
A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5~11
- 下のすきま
B=下部レールと戸の間のすきま寸法
AFD-110またはAFD-120の場合=5~11
HD-07でフリーオープンの場合=9~15
HD-07で吊元仮固定の場合=13.5~19.5
- 左右のすきま設定(折戸1組の場合)
※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E(フリーオープンで吊元仮固定用キャッチを使用しない場合)
使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
24	2.7	2.4
27	3.2	2.8
30	3.7	3.3
33	4.3	3.8
35	4.7	4.2
40	5.9	5.2

※戸幅400mm未満で使用する場合にはご相談ください。

C+E(吊元固定の場合)
使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
24	6.4	6.2
27	6.6	6.4
30	7.5	7.2
33	7.7	7.4
35	9.0	8.6
40	12.4	12.0

Cまたは**E**が吊元固定の場合の吊元側すきま寸法

戸厚	C(またはE)
24	5.0
27	5.0
30	5.0
33	5.0
35	6.1
40	9.1

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どちらを足した寸法、あるいは最大値どちらを足した寸法に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。

上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法 にしていただき、

AFD-110またはAFD-120の場合: 10mm<上下のすきま<22mm
HD-07でフリーオープンの場合: 14mm<上下のすきま<26mm
HD-07で吊元仮固定の場合: 18.5mm<上下のすきま<30.5mm

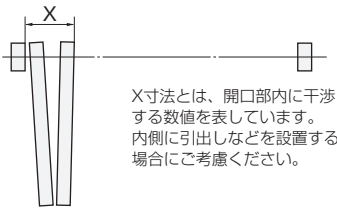
の範囲で設定してください。

すきま寸法は、枠や床のたわみや戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

■表記追加 (25/07/01)

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■戸を開けた時のX寸法



- フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用しない場合
X=戸厚+98mm
- フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用する場合
戸厚24~38mmの場合 X=戸厚+140mm
戸厚39~40mmの場合 X=戸厚×2+101mm
- 吊元仮固定タイプの場合
X=戸厚+100mm+吊元すきま寸法

※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車(AFD-2800-K、AFD-2800)の取付け加工寸法

下部ガイド(AFD-4000)の取付け加工寸法

